

オ、本時のねらい

(ア) へ長調の和音 I・VI・V の理解を一層深めさせる。

(イ) 星の世界の曲に合う和音を見つけ、旋律と和音の関係をわからせる。

カ、教授過程

学習内容と活動	時間(分)	教授と分担		形態	反応評価	準備
		T1	T2			
1 星の世界を歌う。	3	○楽しく歌えるように児童を観察しながら伴奏をする。	1 指揮をする。 歌いだしや、ことばをはっきり歌わせる。	大		
2 学習のめあてをつかむ。	2	○学習のめあてを板書する。	2 学習のめあてを指示する。 (1)星の世界の曲にあう和音を調べさせる。 (2)オルガンで確かめることを話す。			
		<p>星の世界 この曲に合う和音を1小節ごとに調べる。</p>				
3 へ長調の和音を復習する。	10	3 へ長調の和音 I IV V を復習させる。 (1) I・IV・V の和音と記号をわからせる。 (2)それぞれの和音をオルガンで確かめさせる。	○へ長調の和音の理解度を見る。 ・児童の発表と机間巡視。 ○個別指導をする。 ・ふしに合う和音。	大 小	$\frac{3}{3}$	和音カード
4 星の世界の曲に合った和音調べをする。	15	4 星の世界の各小節の曲と和音の関係を調べさせる。 (1)1小節ごとに合う和音を調べさせる。 (2)2人グループでさせる。 (3)オルガンで確かめさせる。	・オルガンでの確かめ。			オルガン
5 和音を発表し合い確かめる。	8	5 調べた結果の発表と確かめをさせる。 (1)調べた和音を発表させる。 (2)曲に合わせ、和音伴奏を確かめさせる。	○学習の結果を確かめる。	大		
6 まとめの話し合いをする。	5	6 本時のまとめと次時の予告をする。 (1)和音調べでむづかかったところはどこか確かめさせる。 (2)次の時間は和音に合った創作の学習をすることを知らせる。	ふしに合った和音を見つけることができたか。 曲の旋律に合わせて和音がひけたか 和音調べでむづかかったところはどこでしたか。	大	$\frac{2}{3}$ $\frac{1}{3}$	
7 楽器のあとしまつをする。	2	○楽器整理の援助をする。	7 楽器整理の指示をする。 ○定位置にきちんと整理させる。	小	むづかかったところ ・和音入れ。 ・I IV の和音 ・オルガンのたしかめ。	

③ 検証と考察

ア、教材研究

(ア) 目標を細目標とし、内容の分析による系列上で調整し、評価項目を対応させた基調案の

作成は、指導の系統性と深まりをみることで満足感をもつことができた。

(イ) 下の学年の題材を取り扱う場合は、特に上の学年に対する、細目標の高度化をはかると